

令和5年度飯綱町社会福祉協議会事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の話題を避けては通る事ができず、その影響に伴う生活福祉資金の特例貸付も令和2年3月から2年半にわたり、令和4年9月末で受付は終了となりました。償還は既に始まっていますが、今もなお、高齢者、ひとり親世帯などの困難な生活状況が改めて浮き彫りになっています。

その様な中、社協独自の新規事業として、介護等支援が必要にもかかわらず自発的に申し出ることが困難である等、潜在的に困っている方にも支援が届くことを目的に、積極的な訪問活動による潜在的にニーズの把握を行いました。モデル地区を設定し、同地域で通いの場の担い手として活動している皆様にご協力いただき実施しました。すでにサービスを利用されているなど、結果的に介護サービスにつながる事例はありませんでしたが、地域住民による見守りの仕組みづくりや地域づくりの手掛かりとなりました。誰もが暮らしやすい地域を住民主体で作っていくという観点から、その実績を生かし令和5年度は他地域への拡充を図り、積極的にアウトリーチ（※）をかけていきます。

また、この新規事業は、町民の皆様からのご寄付の一部を事業運営に充てさせていただきました。ご芳志に対し謹んで感謝申し上げますとともに、今後も地域福祉振興のために有効に活用させていただきます。

介護保険・障がい者サービスでも、感染予防対策をしながら事業を継続してまいりましたが、11月にグループホームわが家において36名の集団感染という重大な事態を招き、社協全体でこの難局を乗り越えました。また、通所事業所においても感染者が度々発生したことにより休業せざるを得ない状況もあり、経営に大きく影響を受けました。現在は落ち着きを取り戻し、利用者も増える兆しが見えています。しかし、ウイルスは消滅した訳ではなく、今後も安心してご利用いただくため、感染予防対策を継続していく必要があります。

介護保険事業所それぞれが、専門職による専門性の高いサービス提供に努め、データを活用した科学的介護の体制整備が進みつつあり、それらが在宅での生活機能を高め、介護予防の効果が期待されています。2024年の制度改正や飯綱町第9期介護保険事業計画も見据え、今後も利用者満足度や質を高め、また、地域とのつながりを継続できるサービス提供に努めてまいります。

社協の中長期計画である第3次発展強化計画は、次世代を担う職員が中心となり策定を終えました。つながり隊活動の普及、ボランティア育成、相談支援強化、権利擁護、社協事業への理解促進、介護保険事業の先駆的な取り組み、介護人材育成等、課題は多くありますが目標計画に基づいて事業を進めてまいります。

※積極的に働きかけて、情報・支援を届けるプロセス

1 総務課

■重点目標

職員全体の支援のレベルアップと資質向上に取り組みます。

①脱属人化・効率化業務の体制づくりの推進

・慢性的な人材不足の中、業務の見直しとICT化による業務の効率化

▶新規・中堅職員研修及びネット研修の活用、派遣職員及び内部登用者採用の育成を図った。

▶県の移住支援金対象求人情報サイトへの登録及び町の移住者受入協力企業に登録した。

▶運転適性診断の実施（29名受診）と運転適性診断結果が要注意者への法人安全運転研修（6名参加）を実施し、交通安全意識の向上を図った。

②コミュニケーションスキルの向上

・コミュニケーション能力の向上により、個人のスキルアップを図る。

▶法人研修等の実施

③健康経営で離職率防止

・働きやすい職場環境の整備と事業所間及び職員の連携強化

▶全職員対象による障がい者研修（名参加）、衛生委員会主催によるハラスメント対策研修（名参加）を実施、職員全員のストレスチェックを実施

▶職員の福利厚生として、スタミナ手当の支給、ガソリン券の支給、介護現場の腰痛予防対策

としての整体師によるマッサージの実施増、ソウェルクラブ加入者数：69名

▶アルコールチェッカーを購入し、事業所における安全運転の強化を図った。

④人事考課導入の体制整備

・人事評価制度の見える化により、職員のやる気を醸成する。

▶キャリアパスの再構築を行い、各職員の目指す道筋が明確になり体制整備が図られた。

⑤第3次社協発展強化計画の評価

・社会福祉協議会の中期目標となる計画を実施後評価（令和5年度～9年度までの5カ年計画）

▶各事業所から9名の策定委員が選出され、1回の策定委員会が開催された。

■課題等

▶慢性的な人材不足により、適正な人員配置ができない状況であり、行政及び町内福祉施設等と連携し、様々な手段を講じて人材確保対策に取り組む必要がある。在籍する職員へはキャリアパスの周知をし、評価制度につなげていく。

▶第3次社協発展強化計画に基づき、法人本部における計画・目標の取り組みを進めたい。

・その他 令和5年度事故等報告件数（年度別）

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
介護等事故報告	122	151	175	148
保険対応（医療機関受診）	15	8	17	10
労災申請	5	3	7	5
車輛事故報告	48	37	29	29
うち修理	14	18	9	14
苦情報告	10	10	8	13
ハラスメント報告	4			

各事業所において事故検証を行い対策を検討している

運営会議において事故対策委員会開催

月 日苦情解決第三者委員会を開催 苦情対応についての意見・助言をいただく

2 地域福祉課

■重点目標（事業）

地域共生社会の実現に向けて、地域福祉活動計画を指針に事業を推進します。

①つながり隊の活動動画を住民と一緒に作成し、わかりやすい情報発信による周知啓発

▶動画は完成し、地区での学習会などで活用していく。

▶つながり隊アンケート調査実施 調査期間【11/11～12/20】 回収率96%

▶地区福祉学習会 開催地区 9地区

▶災害時住民支えあいマップの更新 24地区 マップを使った訓練実施地区 26地区

②ボランティアの啓発、発掘、育成のためのボランティアアドバイザーの養成

▶動画を活用し養成を進めていく。

③行政や多機関と連携し、町の重層的支援体制との連携による相談支援の強化

▶町、まいさぼ信州長野、福祉事務所、障害福祉サービス事業所等と連携ができた。

▶権利擁護に関連した社協事業を毎月ふれあいぼけつとに掲載した。

④積極的な訪問活動による潜在的介護ニーズの把握と支援までの調整

▶高岡地区をモデル地区として、地区住民に訪問員となっただき個人宅を訪問。

（訪問件数 51件 訪問員 18名）

▶訪問した中で、専門職の訪問を希望されたのは3件だった。社協の目が届かない方の情報を得るには有効な方法であった。

⑤メーラプラザを拠点とした仲間づくり、健康づくり、地域づくりの人材育成のための健康寿命延伸活動の講座や研修の実施

▶社会参加や運動の習慣化・継続化を図るため、既存の活動と連携しフレイル対策の講座を

実施し、健康意識向上や社会参加へつなぐことができた。

■総合的企画

- 1 ふれあい広場の企画実施 【10/22】 350名
- 2 福祉フォーラムの企画実施 【7/17】 95名
- 3 飯綱町地域福祉活動計画の推進
- 4 つながり隊の事業推進（災害時住民支えあいマップの更新、訓練実施）
災害時住民支えあいマップの更新地区 24地区、訓練実施地区 23地区
- 5 住民主体による高齢者の居場所づくりの財政支援
介護予防通所サービス（B型）立上げ支援事業立上げ地区に50,000円補助 実績なし
- 6 相談体制の機能強化
自立相談支援（生活就労支援センターまいさぼ）の相談窓口
日常生活自立支援事業（成年後見支援） 3件 新規契約 0件
金銭管理・財産保全生活サポート事業 14件 新規契約 2件
新法人後見事業 相談件数12件 後見0件
生活困窮者支援
・生活福祉資金貸付業務
緊急小口資金 コロナ特例 3件 400,000円
総合支援資金 コロナ特例 3件 1,650,000円
教育支援資金 1件 453,000円
・生活困窮者つなぎ資金の貸付業務 3件 60,000円

金銭管理事業件数の推移

事業	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
日常生活自立支援事業	3名	6名	5名	5名
金銭管理・財産保全生活サポート事業	14名	14名	7名	
緊急小口資金貸付	3件	10件	25件	
総合支援資金貸付	3件	24件	27件	
教育支援資金	1件			
つなぎ資金貸付	3件	9件	3件	

相談件数の推移（詳細は別紙）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新規相談件数	57	60	87	64
対応延べ人数	534	1,311	941	599
対応延べ件数	4,199	4,585	4,353	4,242

・就労準備支援事業

- フードバンク支援 298件
- フードパントリー 【12/28】 72名（26世帯）

- 7 ボランティア及び町民活動の振興拠点
飯綱町多世代交流施設「メーラプラザ」管理運営

■高齢者福祉

- 1 一人暮らしなど高齢者の交流事業（わらび会）の開催 年6回 参加者延べ139名
- 2 お節料理の宅配事業 新型コロナウイルス感染予防のため中止
代替事業として、年末慰問 年末お弁配達を実施133食
慰問、お弁当配達には民生児童委員にご協力いただく
- 3 いきいきサロンの推進 新規立上げ 2地区（東高原地区、古町地区）

いきいきサロン参加者数の推移

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
地区数	34	38	37	40

開催回数	266	252	220	488
総人数	2,318	2,235	2,165	6,328

- 4 シニアクラブ連合会への協力 親睦研修旅行【8/25・26】昼神温泉方面 参加者 20名
日帰り親睦研修旅行【2/17】静岡県清水方面参加者 26名
- 5 引きこもり高齢者の支援事業 男性高齢者のつどいの場「男笑室」
年 12 回開催 延べ参加人数 83 名

■障害者福祉

- 1 北部地区障害者自立支援協議会への協力
サービス調整会議 2回 協議会委員会 1回 だべろう交流会 2回
- 2 飯綱町障害者 J V 会議への協力 会議 1回
- 3 身体障害者福祉協会への協力 親睦旅行 新型コロナウイルス感染予防のため中止
- 4 手をつなぐ育成会への協力 親睦旅行 新型コロナウイルス感染予防のため中止
- 5 知的障害者等社会参加推進事業 (S O 日常化プログラム) 年 7 回 参加人数 58 名
- 6 共同募金福祉車両貸出事業 延べ貸出回数 270 回 (30 世帯)
- 7 車椅子の貸出事業 延べ貸出回数 15 回 (13 人)

■青少年健全育成及び福祉教育

- 1 があたく塾の開催 年 3 回 主な活動 町内散策、魚つかめ、終了式
- 2 高校生ボランティア活動の支援 (アルミ缶プレス) 活動回数 9 回
- 3 総合的学習の授業への協力 協力回数 40 回
- 4 社会福祉協力校の指定 (小学校 2 校・中学校 1 校・高校 1 校) 連絡会議 1 回【6/30】
- 5 幼児・児童・生徒との各種交流の促進 ひまわりプロジェクト実施

■ボランティア及び住民活動の振興・育成

- 1 ボランティアセンターの運営 (ボランティア連絡会運営委員会 3 回実施)
- 2 ボランティア活動・市民活動等への相談及び活動のコーディネート
- 3 ボランティア養成講座の開催 (未実施)
- 4 ボランティア連絡会への活動支援 ボランティア活動展開催【2/22~2/26】
来場者延べ 86 名
- 5 ボランティアセンター運営委員会の開催 (未実施)

現在、社協で把握しているボランティア活動者の団体・人数

区分	令和 4 年度		令和 3 年度		令和 2 年度		令和元年度	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
個人ボランティア数		18		18		27		54
「ボランティア活動を主目的としている団体」の団体数と所属人数	14	283	12	201	22	1,095	20	365
「ボランティア活動を主目的としていない団体」の団体数と所属人数	15	459	13	103	10	236	130	440
合計	29	760	25	322	32	1,358	33	859

■調査・普及・宣伝・連絡・調整

- 1 各種ニーズ調査 つながり隊アンケート調査実施 調査期間【11/11~12/20】回収率 96%
- 2 広報紙 (ふれあいポケット) の発行 年 12 回発行
- 3 ホームページによる情報の提供 (ブログ、インスタグラムの積極的活用)
- 4 地区懇談会等の開催 (9 回実施)

■関連する事業との連携

- 1 民生委員会との連携 (12 回)
- 2 保健福祉課との事業連携 (連絡会議 2 回)

3 町内福祉施設及び事業者との連携（連絡会議 2 回）

■共同募金事業

1 世帯 1,000 円（目標）の共同募金の実施

実績	募金総額	2,897,682 円
----	------	-------------

募金は、福祉車両貸出、福祉教育、広報紙、地域福祉活動やボランティア活動の振興などに活用

■その他

1 災害援護事業（災害救援体制の整備）

実績	募金総額	1,510,222 円
----	------	-------------

2 日本赤十字社事業への協力

3 日赤奉仕団活動への支援

4 環境活動への支援

5 戦没者追悼式への協力 【7/1】 実施

6 遺族会への協力

7 特定目的の寄付について、その趣旨の沿った事業の実施

■受託事業

1 家族介護支援事業等

養成講座（オレンジパートナーフォローアップ講座）

オレンジパートナーフォローアップ研修会 【7/27、9/12、10/12】

年 3 回 延べ参加 33 名

介護教室 全 5 回 延べ参加 42 名

啓発事業

前期高齢者への対応 健康寿命延伸いきいき講座 全 12 回 延べ参加者人 169 名

2 在宅介護者リフレッシュ事業

在宅介護者のリフレッシュ（9 回実施）

認知症介護者のリフレッシュ

温泉プラン 【7/12、7/13】 ホテル太閤 参加者 16 名

【9/21、9/22】 ホテルホワイトイン北志賀 参加者 15 名

【10/13、10/14】 松代荘 参加者 13 名

観光プラン 【11/14、11/15】 長野県立美術館見学&悠善 参加者 14 名

体験プラン 【6/17】 そば打ち体験&宝光社参拝 参加者 7 名

商品券プラン（1,000 円分） 協力店舗 21 店 利用枚数 136 枚

在宅介護者同士の情報交換の提供 カフェタイム 【6/3】 参加者 4 名

3 生活支援コーディネーター事業【第 1 層コーディネーター】

全町的な生活支援・介護予防サービスの実施に向けての体制整備

オンライン体操教室の実施（24 回実施）

オンライン体操普及に向けたスマホ教室の実施（10 回実施）

体力測定会の実施（7 回実施）

通所型サービス B 従事者研修会 【8/4】 通いの場の効果、町の縁側づくり

資源開発に関すること

生活支援・介護予防サービス会議への積極的な関与と参加

地域包括支援センター・第 2 層コーディネーターとの連携、情報共有

有償たすけあいサービス 相談件数 313 件 チケット清算数 123 枚

利用会員数 39 名 協力会員数 18 名

通所型サービス B 8 か所 利用延べ人数 4082 名

通所型サービス B 参加者の推移

	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
福井団地パワリハの会	1,623	1,163	1,103	1,630

すみれ会（毛野）	372	234	241	525
あじさい会（普光寺東部）	332	291	271	288
ポテトサロン（芋川）	572	599	571	914
さざんかの会（東黒川）	218	166	67	365
栄町仲間づくりの会（栄町）	247	36	206	266
サロン高岡（高岡）	402	394	431	104
スマイル倉井（倉井）	316	363	29	
合計	4,082	3,246	2,919	4,092

通所型サービスC 6か所

脆弱化の予知・予防に関する研究

NTTドコモ協力のもと、通いの場がもたらす介護予防効果の数値化を進める

4 結婚相談所運営事業

結婚相談所協力員会議の開催 年4回

結婚相談所登録者交流会の開催 年3回（ときめきカフェ、料理教室）

男性を対象とした「もて塾」の実施

女性を対象とした情報交換会の「ときめきクラブ」の実施

婚活パーティーの開催（4回/年）

サンクゼール婚活パーティー【7/17、1/28、2/25、3/18】マッチング 計6組

長野圏域ポータルサイトへの加入（長野市主催）

【10/29】長野市で開催 【11/12】小川村で開催 マッチング各回 2組

長野圏域連携中枢都市圏結婚支援事業、上水内郡移住婚活イベントの開催

結婚相談所関連人数の推移

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
結婚相談所登録者数	男性 39名 女性 21名	男性 39名 女性 21名	男性 39名 女性 21名	男性 43名 女性 22名
相談者延べ人数	279名	479名	397名	613名
マッチングアプリ登録者数	18名	14名		
お見合い（マッチング）	15件	10件	5件	4件
成婚者数	2組	0組	1組	0組

5 子どもの居場所づくり促進事業（てんぐカフェ）

年23回開催 延べ参加者 158名 延べスタッフ数 146名

お弁当配達 実施回数 22回 延べ配達数 410食

6 地域住民グループ支援事業

いきいきサロン 開催地区 34地区 延べ開催回数 266回 延べ参加者 2318名

つながり隊（隊長研修会・地区福祉学習会の開催）

オレンジカフェ（認知症カフェ） 年11回 延べ参加者 163名 パートナー69名

7 「食」の自立支援事業（高齢者） 延べ 13616食 食数の推移は

8 「食」の自立支援事業（障がい者） 延べ 1039食

9 認知症高齢者やすらぎ支援事業 利用者 0名

10 健康づくり啓発事業（ウエルネススポーツ吹矢）

ウエルネススポーツ吹矢大会【11/8】 参加者 19名

11 運動機能向上訓練事業（多世代交流施設、いいづなコネクtpワリ管理運営）

インストラクター代表者会議 年4回

インストラクター研修会 【12/18、12/22、3/10】年3回

準インストラクター養成講座 【12/24】 参加者 7名

パワリハ年間延べ利用者人数の推移

	令和4年度	令和3年度	令和2年度

メーラプラザ	3,971	3,387	2,265
いいづなコネクトEAST	1,494	1,173	
いいづなコネクトWEST	2,194		
計	7,659	4,560	2,265

- 12 就労準備支援事業 作業回数 88 回 延べ参加人数 289 名 実利用者数 12 名
 13 i バスバスヘルパー業務（毎週水・金午前 2 ルート） 年間 100 日 2 名ずつ乗車
 14 生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援事業【県からの受託】 支援件数 2 件

■課題等

- ▷地域の中で、何らかの支援が必要な方が増えているなか、新型コロナウイルスの影響も大きく地域のつながりが薄れている。支援が必要な方への支援は継続しながら、事業を通してつながりを戻していくように働きかけていく。
- ▷地域で活躍していただく人材（ボランティア、インストラクター、従事者など）が不足しているため、育成に努めていきたい。
- ▷配食の件数が増え、今後は提供や配達にも工夫が必要となる。また、お弁当容器も年数が経ち、入れ替えも必要になってきているため、行政とも相談し対応していく。

3 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）

■重点目標

ご本人が望んだ場所で、必要な支援を、必要なタイミングで利用ができるように支援を行います。

- ▶不測の事態に備えるBCP（業務継続計画）の策定が進まなかった。
- ▶看取り期における本人の望む生活（最期をどう迎えたいか）の確認については、前段階から本人や家族の意思決定支援が困難であった。
- ▶地域包括ケアシステムの推進として、地域ケア会議、医療連携会議、民生児童委員会等の関係事業所参集の場へ積極的に参加し、個別課題から地域課題までの解決に向けて関係者と連携を図ることができた。

■課題等

- ▶BCP作成と訓練まで行う必要があるので進めていきたい。
- ▶本人の望む利用者一人ひとりの現状での生活をどう維持していくかに併せ、今後想定しうる変化（ADL（※1）や家族状況の変化など）のあったときにどうしていきたいかを、毎月のモニタリング時や担当者会議などの節目に本人や家族に確認をしていきたい。
- ▶各会議等には積極的に参加することができ、今後も関係機関との連携は深めていきたい。
- ▶法人内の連絡は電話、FAXに併せメールやSNSを活用することもあったが、事業所としてのルール作りが進まなかったため、今後も継続課題としたい。

※1 移動・排泄・食事などの最低限の日常生活動作

4 ふれあいの園

■重点目標

利用者の価値観や意向を考慮した上で、根拠に基づいた介護サービスの提供を行います。ふれあいの園の役割を町民に知っていただく機会を設けます。

- ▶LIFE（※2）への情報提供を行い、フィードバックされていないが、担当者会議、通所介護計画、事業所会議、ミーティングを通して利用者の情報共有を行いながらサービスの提供を行うことができた。
- ▶ふれあいぽけっとへの掲載、利用者宛にかわら新聞の発行を行い、見る方が分かりやすいようにテーマを作り情報提供を行うことができた。
- ▶新型コロナウイルス感染症対策は継続し、施設内感染は無くサービス提供ができた。必要以上の感染対策はせず、利用者、家族、職員への負担感を軽減できた。

■課題等

- ▶様々な疾患や認知症のある利用者や家族に安心して利用していただくためにも、知識、技術が必要であり、職員一人ひとりが高い意識をもち日々の仕事に取り組む体制づくりを考えていきたい。
- ▶介護職員のなり手が少なく人材不足になっている中、職員が仕事にやりがいを持ち、風通しの良い、働きやすい職場環境を考えていきたい。

※2 科学的介護情報システム（国のデータベース）厚労省へのデータ提出とフィードバックの活用によるPDCAサイクル・ケアの質の向上を目指す

5 むれデイサービス

■重点目標

利用者の生活歴等の情報収集をし、希望や願いに寄り添うことで利用者本位の支援を行います。利用者が地域の一員として役割を持ち共生できる環境を作ります。

- ▶不足していた基本情報を整備し体制を整えている。
- ▶慢性的な人材不足により一部事業を縮小しながら業務継続を行った。
- ▶新型コロナウイルス感染症の影響で企画イベントが中止となり事業展開が困難であった。
ふれあい広場へはテナント出店で参加し、スタッフとなった利用者はいきいきと接客、見学で参加した利用者も久々のイベントを楽しむことができ、福祉事業所の利用者という枠に留まらず地域住民や子供達とのつながりを持つことができた。

■課題等

- ▶整備した情報を入力し、LIFEも活用してフィードバックされた情報を共有して、自立支援とケアの質の向上を図りたい。
- ▶感染予防対策をしながら引き続き利用者と地域住民が繋がる事が出来る企画をし、より充実した時間が過ごせるような取り組みをしたい。

6 訪問介護（ホームヘルパー）

■重点目標

利用者やその家族に寄り添いながらその方の暮らしを支え、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援します。

- ▶サービス利用の受け入れが困難な方に対し、本人や家族の希望に寄り添い、他事業所と情報共有を図り定期的な利用に繋げることができた。
- ▶障がい者へも在宅生活が継続できるようサービスの提案を行い、希望に寄り添う支援ができた。
- ▶平時の備えと感染症予防対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症発症の疑いのある利用者への対応にも当たった。
高リスクの発熱者や新型コロナウイルスワクチン接種に伴う移送サービスに対応することができた。

■課題等

- ▶サービス受け入れが困難な相談内容の高齢者・障がい者が増加しており、安定したサービス利用に繋げていくために重要な関係機関との情報共有と信頼関係を築いていきたい。
- ▶サービス提供に影響のないよう感染症の予防対策や人材確保を図り、BCPを考える必要がある。

7 グループホームわが家

■重点目標

その方らしさに深く寄り添う介護を実践し、住み慣れた飯綱町で安心して生活が継続できる拠り所となるように努めます。

- ▶支援困難事例の検討や支援方法の共有について、担当職員が中心となり情報収集を重ね、職員間で共有したことにより、利用者をより深く理解することができた。
- ▶管理栄養士の指導の下、栄養改善に取り組み、献立だけでなく食べる順番や食事時間にも着目した結果、糖尿病の方の大幅な数値の改善を図ることができた。
- ▶口腔指導を開始し、職員の口腔ケアに対する意識の向上が図れ、ご家族の理解も得られて歯科受診に結び付いた。
- ▶新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生。

■課題等

- ▶感染症対策を講じつつ、入所者一人ひとりの満たされた暮らしの実現（交流・外出・面会等）を図っていきたい。
- ▶重度化していく利用者のスムーズな住み替えの支援が必要である。
- ▶身体状況の変化に伴う受診等付き添いの負担（ご家族・職員）が増加。
- ▶感染症対策を講じ、感染拡大防止に努めていきたい。

8 りんごパーク

■重点目標

身体機能改善と生活機能向上が図れるように、利用者・家族に体力測定結果のフィードバックにより機能向上意欲が湧くよう取り組みます。

- ▶作業療法士と連携し機能訓練に取り組むことができ、ためになるミニ講座は好評を得た。
- ▶地域のいきいきサロンへ出向き、事業所の特色を知っていただくことができた。
- ▶コロナ禍の影響でBCP計画に基づき休業せざるを得なく、利用者・収入に影響があった。
- ▶LIFEへのバーセルインデックス評価（※3）を行ったが、目指した個人の身体機能維持向上が図れず、次年度の加算算定には至らなかった。

■課題等

- ▶介護予防につながる脳トレや身体機能向上につながる運動の提案、ADLの維持が実感できるような取り組みをしたい。
- ▶作業療法士と連携し、個々の機能訓練が行える仕組みを作っていきたい。
- ▶運動の成果として身体機能向上が図れたら、地域の予防活動に参加できるような仕組みを作っていきたい。

※3 食事や着替えなどのADL（日常生活動作）の10項目を自立・部分介助・全介助の分類で、100点満点で評価する検査方法

9 さみずの郷

■重点目標

介護予防の拠点として生活満足度が向上するサービス提供に努め、身体機能及び生活機能の維持向上を目指します。

- ▶作業療法士と連携し、さみずの郷トレーニング（郷トレ）に取り組んだ。また、脳トレドリル（脳トレ）を積極的に取り入れることができた。
- ▶フレイル予防講座は多くの方に受講いただき好評を得て、継続希望の声が上がった。
- ▶半日単位体制に変更して2年目、1日利用を希望する中で他事業所へ移った方もいた。
- ▶コロナ禍の影響でBCP計画に基づき休業せざるを得なく、利用者・収入に影響があった。
- ▶新型コロナウイルス感染症対策を講じ、事業所外での活動ができた。
- ▶事業所の取り組みが評価され、次年度も事業所評価加算の対象となることができた。

■課題等

- ▶利用者に介護予防の情報提供としてミニ講座を開催し、機能の維持を図りたい。

- ▷多岐にわたる利用者ニーズを捉え、ニーズに応えられるサービス提供を行っていく必要がある。
- ▷わかりやすく成果を提示して運動の実感と生活に役立つ情報提供を行う取り組みを継続していきたい。
- ▷介護予防活動や事業所の取り組みを知っていただくために地域に出向き情報発信を行ってきたい。

●受託事業

飯綱町介護予防事業

お元気くらぶ

参加者 第1クール32名・第2クール：34名

すてきなおやじさんくらぶ

参加者 13名（1名は都合にて途中辞退）

フレイル予防講座

参加者 実64名（延751名）